

建築士 おおた

春季号



Ⓐ 社団法人 大分県建築士会

2007 NO 99

CONTENTS

1. 特集：建築士の集い	〈青年部会長〉 後藤 憲二
2. 特集：建築士会 全国大会 栃木大会に参加して	〈中津支部〉 椛田 康男
3. 特集：第16回 まちづくり会議に参加して	〈別府支部〉 浅野 健治
4. 子ども大工道場	
～ 佐賀関支部 ～	佐々木 浩
～ 玖珠支部 ～	佐藤 誠司
～ 佐伯支部 ～	高瀬 泉
11. シリーズ 登録文化財 NO.20 豊後水道海事博物館	〈佐伯支部〉 中田智佐美
12. 連載「福祉と住宅改修」NO.8	〈津久見支部〉 大村 正壽
14. 個人的図書紹介 Vol.14	〈大分支部〉 笠木 忠昭
16. MY WORK	〈中津支部〉 〈別府支部〉 〈大分支部〉 〈三重支部〉
18. 会員紹介	〈大分支部〉 〈佐伯支部〉 〈宇佐支部〉 〈竹田支部〉
20. インフォメーション	
～ 津久見支部 ～	津久見支部街並み調査会
～ 竹田支部 ～	玉田 智
～ 日田支部 ～	梶原 宏一
～ 中津支部 ～	岩崎 節子
～ 高田支部 ～	後藤 憲二
～ 臼杵支部 ～	高橋 利治
～ 三重支部 ～	岡部 達巳
～ 大分支部 ～	大分支部
30. 女性部会のPage	〈大分支部〉 高山鮎美・中道 了子
33. おおいた建物発掘隊	〈大分支部〉 岐部 和久
35. 住宅の耐震化で家族を守ろう！	大分県建築住宅課
36. 行政だより	大分県建築住宅課
37. 事務局だより	事務局
39. 新会員紹介	事務局
40. 編集後記	



伝統的建造物保存地区 日田市豆田町（商家町）

大分県西部に位置する日田市豆田町は、近世初期に建設された城下町から商屋町へと返還した。寛永16年（1639）に幕府の直轄地となってからは、九州における政治・経済の中心地として発展した。南北2本の通りと東西5本の通りによる整然とした町割を残し、各時代で特色ある多様な建築様式は、変化に富んだ街並を形成している。

特集

建築士の集い 開催に向けて

～ 6月23日(土) 大分大会 ～

青年部会長 後藤 憲二

九州ブロックでは、毎年基本的に6月に“建築士の集い” 2月に“九州パッション”を開催しています。

今年の“建築士の集い”は、私達の地元大分県での開催です。(大会会場：大分文化会館)

建築士の集いは、地域実践活動の発表の場として開催することを主眼とし、同時に時代背景としての建築業界が置かれている諸問題をより良く改善する為にはどのような方策が適切なのか、私達建築士一人一人がどのように考えるべきか、ワークショップ等によるグループ討議を行うことを目的としています。

地域実践活動の発表に関しては、今年の全国大会(北海道帯広で9月に開催)のテーマ“北の大地で考える建築士の役割”に因み、ここ九州で行われている地域密着型の建築士会の活動についての発表を行っていただきます。今回の建築士の集いでは、九州各県より1名の代表を選出して頂き、全体会で発表していただきます。最優秀の発表者については、今年の全国大会において発表となります。

今年より九州ブロックの規約が改正され、建築士会の原点ともいえる地域実践活動の発表は、建築士の集いの全大会の中での発表となりました。今回の建築士の集いでは、分科会は3分科会とします。各分科会を簡単にご紹介します。

■ 第1分科会

地域実践活動の発表を受けてのグループ討議を行います。

■ 第2分科会

まちづくり活動が活発な臼杵市の街並みを散策してもらいます。大会会場から臼杵市までの移動時間を利用して臼杵市の街づくり活動の内容を説明します。

■ 第3分科会

大規模災害発生時のネットワーク構築について講演とパネルディスカッションを行います。

大規模災害発生時に出動し社会資本と個人資産の安全・危険性を確認し被災を受けた地域の早期再興に向けた活動について討議します。

またこの活動を通じて、広く社会に建築士会の活動を明示し「建築士会に属する建築士は信頼のできる建築士像」としてアピールします。

夜は、懇親会をトキハ会館にて開催します。九州各県から集まった建築士同士が情報交換をしたり、新しい友人を作り交流を深めてください。

今回は、アトラクションとして女性部の有志と事務局の川村さんが、佐賀関の早吸太鼓の皆さんと競演し、和太鼓の演奏を行います。

他県で開催される建築士の集いやパッションは時間の都合等で今迄参加されていない皆様は、今回は是非参加してみてください。

建築士会への入会を呼びかけている方等がいましたら、今回の建築士の集いへ参加してもらい、建築士会の活動への理解を深めていただけてください。

第49回 建築士会全国大会 栃木大会に参加して

中津支部 梶田 康男

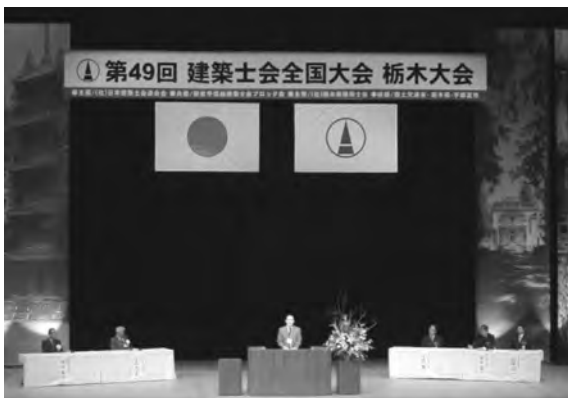
私事で恐縮ですが、この度大会にて、私、連合会長表彰を頂き、身の引き締まる思いでありました。微力ですが、今後とも会のために尽くすつもりです。推薦して頂きました大分県建築士会に感謝の意とお礼を申し上げます。

さて、我々中津支部（7名）は、出来たての北九州空港より出発しました。有楽町駅で下車、東京国際フォーラムを見学し、昼食は築地で美味しい寿司でもと思い、築地市場まで銀座の通りを歩きました。市場の喧騒の中で「30食限定残り9食」の呼びみにその店に飛び込みました。注文の寿司が出て、食べ始めたとき、「30食限定すぐなくなるよ」のその店の呼びみの声に唖然とし、つくづく「田舎者」を感じましたが、腹が肥ればそんなに腹も立たず東京駅より一路JRにて、大会会場の宇都宮市文化会館へと向かいました。式典に出席、各フォーラムのブースものぞき、気になっていた屋台の餃子も食し、暗くなる頃JR日光線に乗りました。



日光金谷ホテル

一日目の宿は、栃木建築士会のある支部長さんおすすめで、日光金谷ホテルに宿泊しました。このホテルは、明治26年建設の現存する日本最古の西洋式ホテルです。明治期の洋風建築を堪能しました。次の日のエクスカーションは、Dコース世界遺産・日光の社寺コースに参加しました。圧巻は、部屋数106室、床面積4,471㎡の大正天皇の旧日光田母沢御用邸でした。この建物は純和風木造建築で、木材をはじめとした質の高い材料を用い、品があり穏やかで質素な建築でした。二日目の泊まりは、旅費を安くする為東京で、三日目は横浜、鎌倉と足を伸ばし、三日間の旅行をおえました。



旧田母沢御用邸

特集

第16回 まちづくり会議に参加して

別府支部 浅野 健治

1月26日、27日の2日間、連合会まちづくり委員会主催のまちづくり会議が開かれた。「建築士は景観まちづくりにどう取り組むか」と題して、各地の事例報告、ワークショップ形式の討論を展開した。

今回、初めての参加であったが、全国の建築士の熱い風を全身に受けて、身を焦がして昇天する思いだった。大概2日目は何割かの参加者が欠席するのだが、今回は2日目も全員が参加して討論するという白熱ぶりだった。

ただ気になるのは、いくつかの建築士会が既に取り組んでいる景観整備機構である。この機構については未成熟な面を感じている。今後、熱心な議論が各県で交わされるであろう。



会議の様子



ワークショップの成果



佐賀関支部 佐々木 浩

佐賀関支部では、「子ども大工道場」を行うにあたり佐賀関中学校の野球部員の3年生、8名が大工道場に挑戦しました。せっかくの事業なので卒業記念、そして野球部の後輩達に何かを残したいとの要望があり、グラウンドに「ダックアウト」を造る事に決まりました。



<やけにおとなしい？生徒達>

士会のメンバー・生徒たちが緊張したなか、入門式を終え、実習1日目地鎮祭から行い、各行事共キャプテンを中心に行いました。



<エイ！エイ！この頃はまだ腰が入っていません!!>

実習に入る前のKYミーティングでは、子ども達から「草むらから蛇が出てきてかまれる」「蜂が飛んできて刺される」など大笑い、なかなか我々では見えない危険？を出していました。ここでやっと会員と子供たちが和んだように見えました。

作業開始、よほどハッピーが気に入ったのか暑かったせいか、ハッピーは大事にしまいこみ体育着姿で作業を行い、そうこうしている間に某新聞社の方が取材に、あわててハッピーを着てインタビューを受けていました。

中学生ともなれば体格は大人並み、現場に8人入れれば蒸し風呂状態、交代で作業を行ったのですが、作業では疲れず、休み疲れたら作業をするという始末。この先うまく続くのかと不安の中、1日目が終了しました。



(夏真っ盛り暑い中、しかも場所はグラウンド、生徒は野球部で体を鍛え上げ、熱さなどへっちゃら、それとは対照的に1人2人と影へ脱落していく士会員、保険を掛ける対象を間違ったかなと思う・・・)

実習2日目

本格的な基礎工事になると、さすが野球部。自分たちでわかる範囲は、チームワーク良くこなして作業を進め、鉄筋型枠工事に入ると面白くなったのか「ここ結べ・釘！板！」と自分達で声を掛け合い作業を進めていくが、コンクリート打設時、型枠の横からコンクリートが・・・。



実習3日目

実習3日目はブロック積み。レベルの測量練習。こ

のときばかりは全員機械に群がり一生懸命。「誰が積んだんか、曲がっると」「ちょっと代われ」「ちょっと待て」とやる気満々なミニ棟梁達です。
（「こんなんつまんのか」と本物の棟梁より激が、棟梁自らブロックを積み替える場面も）

実習4回目

実習4日目は木材加工。さすが男子、初めてみる機械ばかりに興味深々。レバーを下げるだけのほぞ取り機では「スゲー」「次は俺」「オモシレー」と一生懸命に、「穴がほげん」「力いれんか、なにしょんのか」と棟梁よりまた喝が・・・この頃から打ち上げ（焼肉）に心が・・・。

実習5回目

最終日建て方屋根張り塗装工事。棟梁より「力入れ一、離すな」と指示が。120×300×6mの梁を掛け、ビス打ちにおいては「俺にもさせて」「ちょっと待て」と面白いのかインパクトに人気集中、ペンキ塗りにいたっては、刷毛を持って離さない生徒までも面白くなってやめられないのか、それとも打ち上げ（焼肉）の話が出るまでやめないのか？



そして終了式、入門式に比べ落ち着いている姿を見て彼ら自身何らかの自信が付いてきたのかなと感じました。



最後に完成品「ダックアウト」の前で記念写真を撮りお開きにしました。



（実習期間中、事故も無く無事「ダックアウト」を完成したこと、実習生は勿論の事、支部長が一番感激していました）

実習生については、この事業に対して1人でも、建築の面白さ、厳しさ等少しでも理解し建築に興味を持ち、又事業に率先して参加をし、楽しむ、その事業をやり遂げた自信、喜び、感動を忘れずに、ひとまわりもふたまわりも人として大きな人間に育ってほしいと思います。



最後にこの場をお借りいたしまして関係者の方々、協力業者の方々にお礼申し上げます。

「長い間ありがとうございました」おおいた子供大工道場（佐賀関道場）実行委員一同

P.S.

「焼肉うまかったなあ～
今回は肉だけだったけど成人したら
おじさんたちとゆっくり飲もう！」



子ども大工道場



玖珠支部 佐藤 誠司

昨年の6月『子ども大工道場』に小・中学生11人が入門しました。地元龍門地区から『龍門の滝バス停』を作ってほしいという強い要望があり、バス停を作ることになりました。

この建物を作るにより将来玖珠地区より優秀な棟梁がたくさん育ってほしいという願いから地元龍門地区、その他大勢の皆様方の御協力により道場の開門の運びとなりました。約半年間の足跡を追ってみたいと思います。

7月26日 地鎮祭

この日は真夏なみの暑さの中、テントを建て、神事、鍬入れと沢山の方々の御出席をしていただきました。又テレビ中継もあり、地鎮祭終了後、大工棟梁の木材加工場で、鉋がけ、鋸により木材切断などの実習も行いました。テレビ中継を意識しながら子供達は、真剣に実習に取り組んでいました。

8月10日 ベンチ作りに挑戦

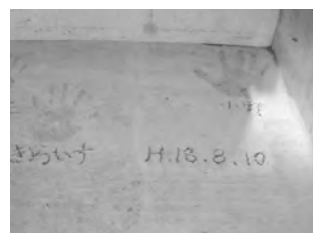
棟梁の指導を受けながら真剣に取り組む子ども達でした。段々上手くなりやめられなくなりました。



ちょっと休憩でも建物の建て方をイメージして積み木を楽しんでいました。きっと子ども達の中で建物のイメージができたのではと思いました。



土間コンクリートに、記念の手形とサインも刻みました。生涯において、いい記念として残るでしょう。



8月28日 上棟

この日は、天候もよく絶好の棟上日和となりました。又、地元婦人会の手作りの餅で、餅まきも行いました。



バス停 完成



10月4日 森林教室参加

西部森林管理署の方々による山を守り育てる意味など貴重な話を聞きました。

西部森林管理署の方々大変貴重な御話をありがとうございました。



11月5日 大分県技能士大会の応援

玖珠の先輩達の応援にきました。先輩方の技能大会に真剣に打ち込む姿を見て、我こそとおもったのではないのでしょうか。



1月27日 JWCADによるパソコン教室



1月30日 終了式

玖珠土木事務所にて、「平成18年度おおいた子ども大工道場終了式」が行われました。

子ども達がこの道場を通じて、木造建築のすばらしさを感じたのではと思っています。そしてこの玖珠地区より次の世代を担う多くの棟梁が誕生することを心より願っています。

最後にこの「おおいた子ども道場」に協力して下さった多くの関係者の方々に心より御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



「おおいた子ども大工道場」佐伯を運営して

佐伯支部 高瀬 泉

「おおいた子ども大工道場」佐伯は、平成18年9月より計7回に亘り開催しました。子ども達に大工や棟梁の指導のもと木造建築の建築過程を体験させることにより、技術の習得や心身の鍛錬を行い健全な育成を図るとともに、地域の活性化や伝統技術の継承等を目的として行われたものです。



佐伯市立渡町台小学校の6年生8名が参加し、佐伯市立渡町台小学校グラウンドに、木造平屋建て床面積9.00㎡の一輪車置場を、地元の佐伯森林組合や、マツオカ製材所の協力のもとに子ども達と一緒に建築しました。

第1回入門式は、9月23日(土)に佐伯広域森林組合にて、子供達8名と保護者や建築士会井上支部長、工事責任者の吉田博幸氏をはじめ35名の参加者で行いました。

初めに「おおいた子ども大工道場」の内容説明の後、森林組合伊藤信実氏より「木が山で育ちやがて木材として製品になる話」の講演をして頂き、各自自己紹介の後一輪車置場建物の内容や今後のスケジュールの打合せ等を行いました。



その後、地鎮祭では神主により玉ぐしのお供え方などを習い、子ども達も神妙な顔つきで鍬入れを行っていました。木材の加工等は、協力業者により無償で木材や場所を提供していただき、11月には棟上式を行いました。小雨の中、予定通り建物の骨組が完成し全員でおもちなげ「しとぎ」を行いました。事前に地域に知らせていたので地域の子供達や校長もかけつけて頂き盛大に行うことができました。最後は11月25日に落成式を終え、立派な一輪車置場が完成しました。

この「おおいた子ども大工道場」を運営して感じた事は、予想以上に子ども達や保護者の物を作る事への意識が高く、毎回全員が参加し(関係者も含め延107人が参加)、会を重ねるごとに内容が深くなっていったと言う事です。工事責任者の吉田博幸氏や柳井次信棟梁の熱心なご指導と、佐伯建築士会員の協力により無事終了し感謝しています。何よりもこの道場に参加した子ども達のいきいきとした眼差しに元気を貰い、建築の仕事のすばらしさを子ども達に伝えることができ、建築士として仕事とはまた違った充実感を得ることができました。



「おおいた子ども大工道場」に 参加しての感想

大工道場を終えて

T・K君

ぼくは、大工道場をしてみて、いろいろなことを学びました。

すみつけや、切り方、くみたて方などを学びました。大工の楽しさおもしろさを学びました。短時間の中で大工をできて本当に楽しかったです。

最初はまったく大工のことを知りませんでした、でも終わってからは大工のことがけっこうわかっていたのでよかったです。

これらの経験を生かし将来にやくだてていきたいと思っています。

大工道場で教えてくださったみなさんありがとうございました。



大工道場の感想

T・N君

最初は大工には、興味はなかったけど大工道場に入っているいろんなことを教えてもらって実際にやってみて、楽しかったです。

みんなといっしょにやって、みんなで作って、とてもいい経験になったと思います。

ありがとうございました。



「大工道場」

T・S君

大工道場をして、木の切り方や家の設計のしかたを教わりました。

家を作るのはむずかしいんだな—と思いました。一度お土産に木をもらって今も大切にかざっています。もらった時はうれしかったです。

道場に行く回数は、あつという間に感じました。楽しかったからだと思います。友達との思い出にもなりました。きょうな経験が出来て良かったです。

教えてくれた人達のみなさんありがとうございました。

感想文

H・T君

ぼくは、大工道場に最初は、はいるきはありませんでした。だけど、お母さんに、入ればと言われたので入りました。

ぼくは、本だなやイスとかしか作ったことがなかったし最初は学校に一輪車置場を作るとはおもわなかったけど最後にはみんなできりとした一輪車置場ができて、思い出にもなったしすごく楽しかったです。いままでありがとうございました。



大工道場

S・Y君

大工道場ではいろいろなことを学びました。

例えば、木の切り方、家の作り方、印のいれ方、コンクリートの作り方などを学びました。教えてくれたおじさんたちもとてもやさしかったです。

そして、友達との友情が深まりました。ほとんどみんなとやったのでとても楽しかったです。

おじさんたちありがとうございました。



大工道場に参加して

T・K君

大工道場に参加して楽しかったです。
手伝ってくれたおじさん達がやさしく教えてくれて、はじめてカンナがけや、ノミを使って穴ほりや家を建てる時のコミセン打ちもしました。また大工道場をしてみたいと思いました。
ありがとうございました。

大工の感想

Y・T君

ぼくは、大工道場をやってよかったと思います。
理由は、みんなとたのしく出来たし、いろいろなしんらいや、元気などがわかったからです。また今度みんなで集まって、明るく、楽しく、元気よく、やってまた、大工のことをよくしりたいです。

大工道場

R・S君

ぼくは、大工道場に参加してよかったと思います。家と同じように、小屋を造ることが楽しかったです。
ぼくは、昔から、おじいちゃんの大工仕事を見てまねして木にくぎを打つだけだったので、「いつか自分だけで小さな小屋でもたててみたい」と思ったのでこの大工道場はその第一歩にしていきたいです。
少なくとも大工道場は、ぼくの楽しかった事の一つです。



新聞にも掲載されました！



県建築士会佐伯支部
棟上げをした。

一輪車置き場の
組み立てに挑戦
佐伯の渡町台小児童
で「おおい子ども大工
道場」が開催され、参加
した同校六年生八人が一
輪車置き場を組み立て、
棟上げをした。



本材の加工を体験
（井上一則支部長、八十
△が、県の委託で九月
から同道場を開いてお
り、これまでに児童たち
は木材への墨付け、のこ
ぎり、かんな、のみを使
った加工を体験した。
加工した木材を、校舎
横で一輪車置き場（九平
方メートル）として組み立てた。
二十五日に落成式を行
う。



県と県建築士会が、
児童らに物作りの面白さ
を知ってもらおうと、県
内各地で開いている「お
おい子ども大工道場」
の佐伯教室が十八日、渡
町台小学校グラウンドに
建てている一輪車置き場
の上棟式を体験した。
佐伯教室に、弟子入り
しているのは、同小六年
生の八人。建築士会佐伯
支部（井上一則支部長）
の会員80人が交代で指導
している。この日は、午
後からあいにくの雨にな
ったが、子どもたちは元
気いっぱい、二人の棟
梁が建てられている一輪車置

棟上げで「しとぎ」まいたよ 子ども大工道場の佐伯教室

き場の柱建てなどを手伝
い、最後にはもちまき（大
分では「ひとまき」とも言
うが、正しくは「しとぎ
（まき）」をした。
佐伯教室は、九月二十
三日に入門式を行い、製
材所やプレカット工場の
見学、設計、施工の打ち
合わせ、スミ付け木材加
工、本物の神主を呼んで
の地鎮祭、基礎工事など、
これまで1回3時間程度
で6回ほど木造建築の実
際を経験し、上棟式を迎
えた。今日（十五日）は落
成式があり、十二月中旬
に県庁で終了式と発表会
をする。
（加藤）



シリーズ 登録文化財 No.20

「豊後水道海事博物館」



登録文化財：旧水ノ子島灯台吏員退息所物置所



登録文化財：旧水ノ子島灯台吏員退息所堀

名 称：豊後水道海事博物館
(旧水ノ子島灯台吏員退息所)
所 在 地：大分県佐伯市鶴見大字梶寄537-1
建 築 年 代：1904年（明治37年）

佐伯支部 中田 智佐美

保護のためだとか・・・瓦にきざまれている干のマークは当時灯台の管理を通信省が行なったことを示しています。

当時の生活様式そのままの部屋の他に古い漁具や水ノ子島灯台のリアルな模型などが展示されており海事博物館として再生されています。

◇ 豊後水道海事博物館について

豊後水道の真ん中に位置する水ノ子島灯台の維持、管理を任されていた吏員の退息所。

大規模な煉瓦造建物で内部は5世帯の住居に区画されており1部屋だけは当時のまま保存されています。

畳の部屋二間にレンガのかまど、なぜか内部というのに各部屋についていた雨戸、これは単身者、単身赴任者、既婚者と色々な吏員がいたためにプライバシー

アクセス：佐伯駅よりR388、県道604経由
鶴見・鶴御崎方面へ案内看板左折
営業時間：午前9：30～午後4：30
休業日：火・水曜日
入 場 料：大人200円 子供100円
問 合 せ：0972-33-1111



***** 津久見支部 正会員 *****

福祉住環境コーディネーター 大村 正壽

高齢者・身体障害者のための住宅改修の参考になると思われる住宅機器を前回に続き書いてみた。

大分市内の3メーカー【サンウエーブ工業(株)、クリナップ(株)、タカラスタンダード(株)】のショールームへお伺いした。

各メーカーのショールームの担当者の方に「建築士おおいた」に載せるため、「高齢者・身体障害者のための商品」を教えて欲しいとお願いした。

また、主に各社の特長ある製品についてお尋ねした。

1 キッチン

サンウエーブ工業(株)

●車椅子を必要とされる方、立ち仕事がつらくなった高齢者の方が、座ったままでの作業をスムーズに進められようと考えられたキッチン。



クリナップ(株)

●使いやすさが行き届いたコンパクトなキッチン。水栓が手前に設置できるので無理なく手が届きます。



コンパクトながら奥行きのあるシンク

大きな鍋もラクラク洗える奥行きたっぷりサイズ。水栓が手前に設置できるので、無理なく手が届きます。(標準装備)

操作が簡単なシングルレバー水栓

1本のレバーで水温や水量の調節ができるスタンダードタイプ。レバーを上げれば吐水する設計なので、落下物による水の開放がありません。



タカラスタンダード(株)

●長時間の作業は、腰掛けたラクな姿勢で座ったまま作業ができ、洗い物や下ごしらえなどの作業をラクにします。

座ったままでも手が届きやすい先端レバー式水栓



座ったままでも手が届きやすい。
【先端レバー式水栓】
開閉レバーが先端にあるので身を乗り出さなくても操作ができます。

2 浴室

クリナップ(株)

- ハイポジション設計（腰や背中に負担をかけず、楽な姿勢で、ほしい物に手が届く）
フルサポートバー（イスの立ち座りから、浴槽の出入り、入浴まで、安全を切れ目なくフルサポート）
スムーズ浴槽（浴槽に入りやすいように、またぎ高さを低くし、足上げがスムーズでラクに入浴）

7 Smiles Cycle-3

ハイポジション設計

腰や背中に負担を掛けず、ラクな姿勢で、ほしい物に手が届く。アクリアバスならではの快適設計です。



7 Smiles Cycle-5

スムーズ浴槽

特許・意匠出願中

足上げラクラク、スムーズに入浴。安全性に配慮した、新しい浴槽の登場です。



※製品の説明文は各社のカタログを参考に記載した

◎ご協力下さったメーカーは

- ・サンウエーブ工業(株) 大分営業所
大分市下郡東1-10-22
TEL. 097-568-3200
- ・クリナップ(株) 大分ショールーム
大分市下郡中央2-4-12
TEL. 097-504-7750
- ・タカラストانダード(株) 大分ショールーム
大分市下郡南3-3-5
TEL. 097-568-3417

(訪問順)

7 Smiles Cycle-4

フルサポートバー

特許・意匠出願中

イスの立ち座りから、浴槽の出入り、入浴まで、ご家族の安全を切れ目なくフルサポートします。



今回は、個人的にはキッチン関係に強いと思われるメーカーを訪問したと思っていた。期待が大きかったせいもあるが「高齢者・身体障害者のため」の製品が少なく思えた。

しかし、各メーカーの担当者は消費者の要望を感じているようだった。

今後に期待したい。

今回、お世話になりましたサンウエーブ工業(株)の後藤美紀子さん、クリナップ(株)の甲斐さおりさん、タカラストانダード(株)田中吹季さん。お忙しい中、突然の訪問にも拘らず、親切・丁寧に対応していただき誠にありがとうございました。

また、不慣れのため、記載漏れもあるかと思われますがご容赦ください。

最後に紙面を借りて衷心より感謝申し上げます。



個人的図書紹介

vol. 14

旧福岡シティ銀行が壊されたので
医師会館解体の頃を思い出してみた

大支部 笠木 忠昭

この持ってまわった言い回しは、磯崎新の『反回想 I』(A. D. A. EDITA Tokyo Co. Ltd. 2001年5月21日発行)の各表題のパロディです。例えば「第一章 メタボリズムとの関係を聞かれるので、その頃を思い出してみた」「第二章 旧大分県立図書館が転生したので、その頃を思い出してみた」「第七章 また万博が噂されているので、EXPO '70の頃を思い出してみた」等々全部で十二章ありますが全部このような言い回しです。その形をちょっと拝借してみたのです。



この『反回想 I』という著書は、磯崎新の思い出を綴った大変読みやすく、郷土出身のネオ・ダダの芸術家吉村益信の高校時代のことなども書かれておりお奨めの本です。

さて、私の思い出は、『J I A News 1999年6

月号』という建築家協会の会誌に掲載された文に集約されています。

「大分県医師会館は何故クラッシャーの露として消えなければならなかったのか」

1. 4月11日現在の状況

この雑誌が皆さんの手元に届く頃には、大分県医師会館の跡地は市の駐車場となっているであろうか。3月23日から始まった解体工事で50%が瓦礫となった状況にある現在、私達『大分の建築文化を考える会』は、落胆というよりも怒りに似た感情を抱きつつ、今回の事件の経過を世に報告しなければならないと考えている。

2. 『考える会』の活動

この建物が大分県医師会の移転に伴い取り壊され、跡地を大分市が駐車場として買収することが公表されたのは、今年の11月の市議会便りによってであった。

すぐに会が再組織され、11月25日には、大分市、市議会、医師会へ、一時解体を中断し、保存再利用の可能性を公開の場で議論する機会を与えてくれるよう陳情した。

同時に、この運動を市民運動とするため、様々なイベントを試みた。例えば、三度にわたる『ウォークツアー磯崎建築見て歩き』、『磯崎新の大分時代を探る茶話会』、そして、藤森照信東大教授を始めとし、石山修武早大教授、六角鬼丈東京芸大教授による講演会の開催。また、磯崎新アトリエのチーフ藤江秀一氏による報告会。4月10日には、皮肉にも、アートプラザにおいて、解体工事の音を聞きながら藤岡洋保東工大教授による『残すことはつくること・新しい建物も残そう』と題した講演会を催したところだ。

講師の皆さんには、殆どボランティアで大分まで来て頂き、私達に磯崎建築の処女作が建築史上、如何にエポックメイキングな作品であったのか。また、1972年に増築された新館の、その増築の扱い方手法は、今後の保存と改修の時代の手本となるであろうことなど、多くの示唆に富んだお言葉を頂いた。

3. 再度の陳情

昨年11月の陳情に続き、東大の鈴木博之教授が中心になって作成された、吉武泰水東大名誉教授をはじめとする建築学の研究者の方々や、菊竹清訓氏、林昌二氏、黒川紀章氏、安藤忠雄氏、谷口吉生氏など磯崎氏と並んで海外でも高い評価を受けている建築家の方々、さらには、粟津潔氏や、柏木博氏など美術界で著名な方々など約50名の著名と、今一つ、学会九州支部歴史意匠委員長の北野隆熊大教授の呼びかけによって集められた、九州内に在住する建築史等の研究者160名の『大分県医師会館建造物の保存に関する要望書』を添えて、3月2日、再度村松会長が、木下敬之助大分市長と吉川医師会長に医師会館取り壊し凍結を求めた要望書を提出した。

しかし、それでも大分市と医師会のかたくなな態度を崩すことはできなかった。

ちょうどこの前日、磯崎新氏がフィレンツェのウフィツィ美術館の新しい玄関のコンペで優秀賞に選ばれたことが地元紙で報道された。これは、当該美術館の設計者、ミケランジェロの弟子でもあるジョルジュ・ヴァザーリと共に世界の建築史に永久に記憶されるものと考えられ、力強い援護射撃となるはずだったが…。

いや、ここで医師会の名誉のために述べると、平成8年2月10日付けの会報で吉川会長は次のように述べていた。『…はつきり申し上げますと、例えば、市がこの建物を保存するということが必要であるという判断をまずして頂くということが一つのステップだと

思います…ただ、現在の市執行部の方々の考え方としては、著名な方でもあるし、作品としての値打ちが非常に高いのでなるべくその方の意思を尊重したいという話は直接ではございませんが聞いております。脈のない話ではないということで今は努力しているところでございます…。』このように医師会館建替えの前段では、建物を残すことを模索していたことが理解できる。

しかし、何故この時期に、医師会の諸先輩が造られた理想の一つである医師会館の保存を大分市に強く主張しなかったのだろうか。また、新館建設債への補填費捻出のためとはいえ、こうした情報を正確に公開しなかったのだろうか。この秘密主義は残念でならない。

4. 各国からの解体反対のメッセージ

全く皮肉にも、解体の着工時期に合わせたように、世界各国の磯崎建築を理解する人達から、解体に反対するファックスが村松会長や大分県建築士会あてに続々と届き始めた。

著名な建築家・芸術家、そして政治家から市井の人達まで50を超える数である。

主な送付主を挙げると、ウィーンのハンス・ホライン、オランダ建築学会理事クリスティン・ファイライズ、ポルトガルのアルバロ・シザ、スペインからはリカルド・ボフィル、丹下敏郎、バルセロナ在住の著名なグラフィックデザイナーのハビエル・マリスカル、パラフォル市市長、ブラネス市市長等、アメリカからはスティーブン・ホール等。

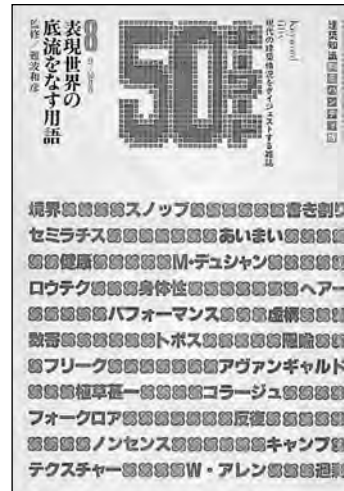
私達はこれを、4月13日から17日まで『医師会館の保存についてのメッセージ展』として市民に公開した。そして、このことも含めて、今後、今回の経緯を何らかの形で記録公表したいと思っている。』

今回は、私も疲れ果て個人的には殆ど何もしなかったのですが、「大分の建築と文化を考える会」が発展的に「大分都市・建築研究会」という団体になり、その任意団体が保存運動を少し展開しました。その中で、岡部明子千葉大学助教授を呼んで『サスティナブルシティと戦後文化遺産』という講演を今年の秋に開催したのです。価値の定まらない戦後建築の保存運動をやっても、やっても壊されていくという現実があるということが強く印象に残った講演でした。その講演で、岡部女史は、単体としての建築ではなく集合体としての建築群を保全再生する方策を考えるべきだと述べたことも私の頭にこびりついています。

このことを大分市中心部に残された初期磯崎建築にあてはめてみますと、大分県医師会館、大分県立中央図書館、中山邸、福岡シティ銀行の四つがあります。どれも異様な建築物です。モダニズムからの脱皮を模

索していた頃の彫塑的な作品群です。これを群としての建築として解釈すると、磯崎は大分市の中心部に異化作用をおこす建築を挿入したと捉えることもできます。

では、異化とは何か。「異化」は演劇の世界でまず提起された。伝統的なもの、制度のアンチとして、六〇年代以降の前衛演劇で多用された手法であるが、その影響はジャンルを超えて広がっていった。』（『表現

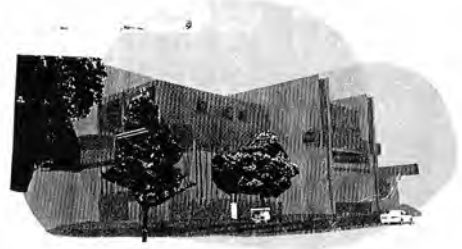


世界の底流なす用語』難波和彦 監修 (株) 知知出版 1983年9月10日発行) と定義され次のように説明されています。「異化という概念については、プレヒトの劇理論におけるそれを想起すべきであろう。(略) 別のところ

で書いているのであるが、感情移入やカタルシスではなく、中断によって驚きを呼びますこと、それによってまず状況を発見すること、『対象を認識しつつしかもそれをなじみのないものとしてあらわすこと』が素朴に異化と言っている。すなわち、異化は存在を認識し批判的に対象化する方法として捉えられ、認識即表現であるとするリアリズムの手法に対置される。(略)」(同書より) これは、まさにダダの思潮から派生していると考えられます。そして、吉村益信が主催するネオ・ダダのグループに関わっていたのも磯崎新であります。

ダダは、既成概念やアカデミーに対し反、反、反で答えます。大分市の中心部に於いてももの凄い価値を有する建築群が、もの凄い反感を持って容易に壊される理由の一つが、「認識即表現であるリアリズム」＝機能主義的モダニズムに対するアンチとして建築を構築したことではと、今にして思い当たるのです。

私には、もう誇るものがアートプラザ一棟となった故郷の都市が、かつて四棟もの異形の建築物群によって世界で唯一の景観を構築していた街であったことを語り継ぐ術しか残されていません。



MY WORK

- ★建物名称 小城山 宝命寺本堂
- ★建物場所 国東市武蔵町小城499
- ★建築主 宝命寺
- ★設計者 たかえのき設計 高榎 利彦
- ★施工者 大工工事 藤野建設
- ★構造 木造平屋建て
- ★規模 床面積 130㎡
- ★用途 寺社

★設計主旨

仏の里国東市武蔵の六郷満山宝命寺本堂の建て替開山1300余年の歴史を持つ寺だが、門徒数の減少で建設費が少ない、しかし「木造の本堂を建て替えたい」この希望をかなえるために、本来の寺社建築の小屋組を継承しつつも大工手間を軽減するための小屋組と梁など継ぎ手のいらぬ長尺材（12m材）を使った。



- ★建物名称 くらた医院
- ★建物場所 別府市堀田4-2
- ★建築主 倉田荘太郎
- ★設計者 桜井義夫設計室
- ★施工者 株式会社 後藤組
- ★構造 鉄骨造 平屋建て
- ★規模 建築面積 595.91㎡
床面積 527.79㎡
- ★用途 診療所
(形成外科・皮膚科・美容外科・美容皮膚科)
- ★竣工日 平成18年6月29日

★設計主旨

“かみ・はだ・からだ”という基本テーマを追求する診療所で、スキンケアラボを併設している。外観は緑に包まれた敷地にあわせて、優しくゆったりとした表現とし、内部空間は石と木を基調としたデザインとして、診療所らしくない、まるで住宅の居間にいるような居心地のよさを目指した。



外観



待合ロビー

MY WORK

- ★建物名称 K's flat
- ★建物場所 大分市坂ノ市
- ★設計者 一級建築士事務所たかせao
- ★施工者 姫野組
- ★構造 木造平屋
- ★規模 建築面積 109.84㎡
床面積 107.57㎡
- ★用途 専用住宅
- ★竣工日 平成19年1月



★設計主旨

「中庭のある平屋に住みたい。」「タタミの部屋が生活の中心になる」
そんな家族の希望から、設計はスタートした。

広い敷地の境界線が真南と約30度ずれていることから太陽を中心に配置し、外部とのつながりを重視した。いつものことだが、予算は限られている。

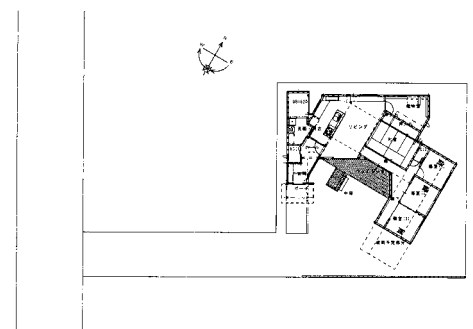
もう一部屋欲しかったが、将来増築のための余白とした。造りこむべき外部空間も家族のDIYに任せることになった。

「昔ながらの家づくりがしたい。」と思いながらも、大量生産品のコストパフォーマンスに頼らざるを得ない部分が多い。バランスのとれた設計とは「物事の良い面に光をあてること」だと思う。

外壁に2色の色つきの廉価なパネルをサイディングをランダムに貼った。塗装両面が耐用年数に近づけば、1色に（または違うランダムに）塗り替えられるだろう。建物にメンテナンスはつきものだから。

増築され広さが変わり、植物が植えられ庭が完成する。外壁の色が変わる。家族とともに、おうちも成長する。

K's flat



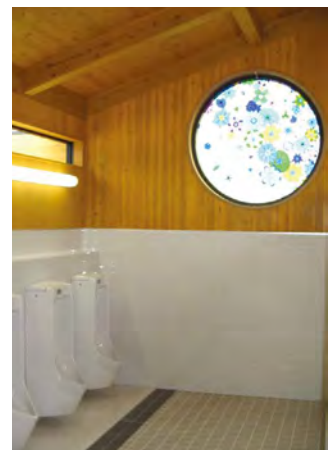
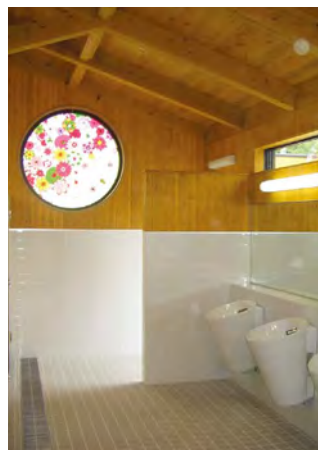
- ★建物名称 田中バイパス公衆トイレ
- ★建物場所 豊後大野市大野町田中
- ★建築主 豊後大野市
- ★設計者 高野建設一級建築士事務所
- ★施工者 株式会社 友岡組
- ★構造・面積 木造 59.50㎡
- ★用途 公衆トイレ
- ★竣工日 平成18年3月

★設計主旨

駐車場・物産館などの周辺施設の整備も進み、今回「道の駅」に登録された新しい街並みに建てられた「公衆トイレ」です。

内部の壁、天井は県産材の杉で仕上げ、男性トイレ・女性トイレのスペースを別棟にし、使用しやすさに配慮しました。

ライトコートには「もちの木」と「木製ベンチ」を配置し、丸窓には「ステンドグラス」を配し、昼間は室内の、夜間は外部の光のワンポイントとなるようデザインしました。

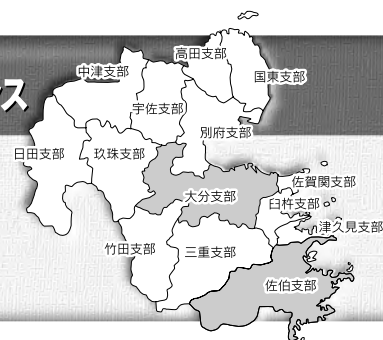


PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



- ★生年月日 昭和56年8月11日
- ★勤務先 エイチエム建築企画室
- ★趣味 映画鑑賞・愛犬と川原でランチ

★将来の夢、モットー等

設計事務所に入って4回目の春が来ました。あっという間の3年間でした。

今までは、設計事務所で働いている同じ年頃の子達と知り合いになれる機会がなかったのですが、建築士会の女性部の行事に参加することで、たくさんの頑張っている人に出会うことができ、嬉しいです。情報交換の場として、とてもいい刺激になっています。

唐突ですが、ただ今、和太鼓の猛練習中です!!

実は、今年の6月に開催される、「九州ブロック建築士の集い 大分大会」で、女性部5人で和太鼓を披露します。昨年の4月から、佐賀関町にある速吸太鼓さん指導のもと、皆で仕事の合間をぬって練

習してきました。一年間はとても短くて、あっという間に本番まであと2ヶ月です。

まだまだ、納得いく形にはなっていませんが、6月の大会で皆さんに温かい拍手を頂けるように頑張っています。ぜひ、楽しみにしてください。



阿南 未来 (大分支部)

- ★生年月日 昭和51年8月18日
- ★勤務先 安藤建築
- ★趣味 釣り、映画鑑賞

★将来の夢、モットー等

独立して今年で5年目になります。まだまだかけだしてまわりの方々に助けられながら毎日がんばっています。

家造りをしていくうえでのモットーは、「和」です。洋風の造りの家がたくさん建ち並んでいく中、自分は日本建築の良さをたくさんの人に知ってもらいたいと思っています。そのために昔ながらの技術や知識を勉強中です。そして木の温もりが伝わるような家造りに携わっていきたいと思います。建築士会の中では、まだ新米なのでこれからもよろしくお願ひします。



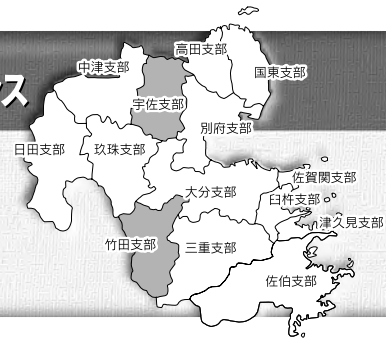
安藤 健史 (佐伯支部)

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



- ★生年月日 昭和50年1月24日
- ★勤務先 株式会社 末宗組
- ★趣味 旅行

★将来の夢、モットー等

この業界に入って12年、主に現場の施工管理に携わってきました。協力業者との和をモットーに、施主の満足のいく建物を作るため、日々頑張っています。

これからも当社の社是である「和の信用」を大切に、安全第一で頑張っていこうと思います。



えぐち まさき 江口 真樹 (宇佐支部)

- ★生年月日 昭和30年2月28日
- ★勤務先 有限会社 工藤商店 代表取締役
- ★趣味 ギター(あまり弾く暇がありません)
旅行

★将来の夢、モットー等

4年前より久住に戻り、建築士会にもようやく出席できるようになり、竹田支部の方々とも交流が生まれ、久々に人とのふれあいの暖かさを感じることが出来ました。会の活動を通じいろんな勉強をさせていただければ、と思っています。又、久住という所柄、建築においては出来るだけ地の利を生かした『地産地消』を目指していきたいと思っています。

古家が好きで、現在久住町の酒蔵を改修し、竹田櫻、という和食処と、一日一組限定の宿を兼業しています。古家と、この酒蔵で、小さな街おこしをしてみたいです。



工藤 栄一 (竹田支部)



景観

産業発祥の地は今

津久見支部街並み調査会

津久見のシンボルである鉾山の峰々。高速津久見ICでは聳え立つ雄大な岩肌が皆さまを出迎えています。今回は、このふもとにある上青江地区を紹介します。

料金所を降りると大きな楠木と菅神社が見えて来ます。津久見でも珍しい「神牛」が奉納されています。鳥居には江戸時代（1852年）に奉納とあり155年以上の歴史となります。

－ 地元のお話しと資料より －

この神社は臼杵から尺間へと続く街道沿いにあり、鳥居は神殿の方を向いてはいるものの尺間山を向いて建造されたとの説もあるのです。鎮南山（臼津バイパスの山）の街道途中に以前取材した立石神社があり、その鳥居も尺間山方向を向いているのです。他に西暦1471年建造した泉近寺跡が今でも不明と謎ばかり。水晶山では山の中に洞窟があり野津町神野（風連鍾乳洞方面）に続いていたと言う「朝日神社と夕日神社」の姉妹伝説もありますが・・・この話しは又いつか。



さて、上青江地区は青江川を挟んで南に鉾山、西に長く集落がある。この地は江戸時代（1791年）に石灰産業が始まり大正7年（1918年）にセメント産業が進出した工業の歴史と、古くは奈良時代（740年）にミカン試験栽培を始めた地なのです。当時の尾崎小ミカン先祖木（紀州ミカン）が国指定文化財となり、今でも毎年実をつけています。1641年には温州

ミカンも栽培が始まりました。
(豆知識：747年東大寺大仏完成)

－ 農家の方のお話し（60代）－

わしが若え頃ミカンの値が高こうて、小遣いのねえ時ミカンポケットに押し込んで飲み屋（スナック）によう行った。なんでかちゅうとミカンと交換で飲ましてくれたんよ。おそうまで飲んだら朝起ききれんで、ミカン盗んだんじゃろと怒られる繰り返しじゃった。



撮影日不明：津久見IC位置より
(左が鉾山・下側家屋は学校・右側の山に先祖木・上が青江ダム方面)



昭和40年当時の鉾山写真：菅神社横からの風景



半分の高さになった鉢山（現在）：青江ダムは右折

昭和に入ると石灰岩の採掘が進み山には木々の緑が無くなり、現在の様に灰色の宝の山が現れました。

木々の伐採による水害や降り積る石の粉塵に悩まされ苦労の日々が続き、昭和53年「青江防災ダム」が完成し、粉塵も少なくなり青江川の環境整備が徐々に進み始めたのです。今では約2 kmに渡る河川の一部に桜並木が出来、ダム湖畔には公園と野外ステージが設けられました。春は桜の花見客が憩いの場所として賑わい、夏は音楽の祭典が開催されています。



小学校前の青江川：桜並木と菜の花の黄色い川面

では、青江ダムへご案内。国道を下り右折し川に沿って車を走らせると車窓から緑あふれる風景に、時代を語る家屋や長屋の社宅が微笑んでいます。昔灰色に染まった街は花と緑ある景観地区へと変化しています。



水害対策の為高く築かれた石積み擁壁と家屋



ミカン貯蔵庫の換気棟の向きに注目：風の流れ



ダム公園遊歩道：桜とツツジの紅白に彩る花の祭典

調査会より

一部「昔の写真展」より掲載しています。桜の写真がカラーでないのが残念ですが、支部HPに津久見市37ヶ所の「春の公園華ざかり」一挙公開中！



山口県萩市研修旅行記

竹田支部 玉田 智

今回は、昨年12月2日、3日に行われた山口県萩市への竹田支部研修旅行について御報告申し上げます。

参加者15名で、冬の朝7:00に竹田を出発しました。バスにて高速を乗り継ぎ、長門市での昼食の後、あいにくの寒空のもと、仙崎の「金子みすゞ記念館」を訪れました。またみすゞ通りを散策し、点々と残る古民家で形成された趣のあるまちなみを堪能しました。



金子みすゞ記念館

次に、萩市内へ移動し、東光寺・松陰神社を見学しました。東光寺は中国様式の黄檗宗の寺院で元禄4年に建立。国の重要文化財（総門、三門、鐘楼、大雄宝殿）に指定されており、重厚且つ荘厳な雰囲気。毛利家の廟所もあり500基の石灯笼は圧巻でした。社寺好きの私としてはもっとじっくりと見学したかったのですが・・・。



東光寺 総門

山口市内の宿に泊り、夜は宴会でいつもどおりに賑やかに更けていきました。1日目の終了。

2日目はまた萩市内へと戻り、重要文化財菊屋家住宅・萩博物館・毛利家萩屋敷長屋・萩城址の見学をしました。

菊屋家住宅は江戸初期の建築、日本最古の町屋に属し、主屋、本蔵、金蔵、米蔵、釜場の5棟が国の重要文化財に指定されています。約2000坪の敷地の約3分の1が現在公開されており、大商人の商家の風格がよく残っていました。また海鼠壁の美しい菊屋横丁や周辺の萩城下のまちなみを散策し、雰囲気味わいながら、今後の竹田の街づくりの参考にできるようなディテールを拾い集めたりして、有意義に過ごしました。



重要文化財菊屋家住宅

萩博物館にて萩城下町についての勉強をした後、毛利家萩屋敷長屋の見学、萩城址を散策し、昼食後名物のふぐの蒲鉾を買い、帰路へ着きました。



寒風吹き荒ぶ中、1泊2日の強行軍でしたが、この研修旅行は今後の竹田のまちなみ形成に対して大いに役立つ有意義な勉強会だったと思います。



デザイン建築勉強会の報告

日田支部 梶原 宏一

2月15日に行われた勉強会について、報告します。

きっかけ

勉強会を行う事となったきっかけは、日田支部会員の梶原氏から、所有している海外の建築家の写真スライドを利用して、若い建築家たちのために何かしたいとの話からでした。

青年部会で話し合った結果、前々から日田林工高等学校の生徒と何か交流を持ちたいと言う意見もあり、勉強会を日田林工高等学校で出来ないだろうか？と、いうことになりました。

日田林工高等学校に相談に行ったところ、協力してもらえるとの快い返事をいただきました。

後日、梶原氏と打ち合わせした結果、今回のテーマは《ヨーロッパの近代建築》と決まりました。

担当者である日田林工高等学校建築科の円福先生とタイムスケジュール、内容等打ち合わせをしました。

当日

18：30開会。日田林工高等学校の生徒にとっては、少々遅い時間にもかかわらず、当日参加人数は、士会員11名、先生（立花校長先生含む）4名、生徒9名の計24名の参加がありました。

途中に小休憩を挟んでの2部構成。



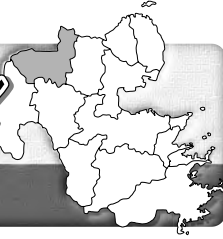
『ヨーロッパやアメリカの住宅と比べ、日本の住宅の平均寿命は、とても短いのが現状です。もっと長く大切に住宅に住んでもらうには、住宅のデザインも必要要素ではないだろうか？地元工務店には、確かな技術力はあるが、一流ハウスメーカーみたいにプロのデザイナーがいるわけではないため、見ためで負けてしまう部分がある。ヨーロッパの建築物にも自分たちがこれから設計していく上で参考になることがあるのではないだろうか。』

スライドを見ながら解説を入れてもらい、また最近の日本の建築などの話を交えながらわかりやすく話してもらえたので、よかったです。

閉会後の感想で、また開催してほしいとの意見をいただきました。

梶原氏は、『デザインは見る事が一番！』とおっしゃったので、またこの勉強会を企画したいと思います。





女性建築士による 木造住宅耐震診断



中津支部 岩崎 節子



あなたの家は大丈夫？

昨年11月24日・25日の両日、中津市役所1階ホールにて「女性建築士による木造住宅無料耐震診断！」を、開催しました。

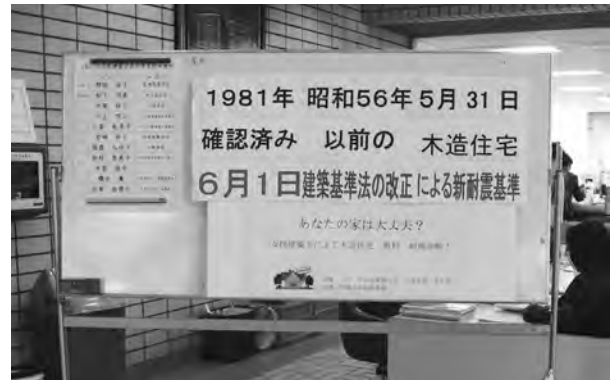
はじめての試みで、市報への掲載・市内に出での宣伝・事前の準備等大変でしたが、当日は14名の来談者がありました。

面談者が女性ですので話しやすかったのではないのでしょうか。

内容は簡単な質問から後日調査に向いての相談（1件）がありました。相談者も女性の意識が高い様な気がします。

耐震等住宅に関する相談は、受け皿をしっかり作れば、まだまだあると思います。

中津支部女性部数名での対応でしたが、女性建築士のアピールになったのではないのでしょうか。



最後になりましたが、お手伝いくださった関係各位の方々、ありがとうございました。





まちなみについて

高田支部 後藤 憲二

我々建築士の仕事は、圧倒的に建物単体についての仕事が多いと思います。そしてその単体が集合して“まちなみ”が出来きます。“まちなみ”には“街並み”と“町並み”という2種類の漢字があります。どちらも景観に関係しますが、特に“街並み”に関しては、その街路自体を形成する景観になりますので特に注意を払う必要があるのではないのでしょうか。

私が20年程前に住んでいたカナダのヴァンクーバーという都市では、街の歴史約100年（20年程前に）という歴史的に浅いために建物の調和に対してとても配慮した街づくりを市役所が中心となって行われていました。例えば、ほぼ同時期に建てられた住宅が複数件並ぶと当然ヘリテイジ（歴史的保存建物）として指定されています。たとえ1件でもヘリテイジとして指定されています。ヘリテイジ指定を受けた建物は、建て替えを行う時には、ヘリテイジ委員会において審査を受けて、それが承認されてから確認申請の申請となります。ただし、1件だけの指定の建物は現行の法規制の中での工事であれば景観的な規制は掛かりません。

ヴァンクーバーの場合は、住宅地では最低敷地面積が地区によって異なりますが、一番狭いところで約100坪です。容積率は60%と非常に低いため市役所側は、この容積率に10%~20%のインセンティブを与えて既存建物のリノベーションへの誘導を図るようにしています。私も経験したのですがこのインセンテ

ィブを得るためには、建主又は代理人の建築士が物件プレゼンテーションと委員会の委員との質疑応答を行い方向性が決まることとなります。この委員会はとても厳しく、外観的基本的には既存の形と素材を可能な限り使用することを求められます。しかし、内部においてはどのように変更しても問題はありません。特に表通りからのファサードを重視し、補修を前提とした扱いです。このため住宅街では、閑静な住宅地が多く街並みだけでなく広い範囲での町並みもかなり担保されているように感じられます。（当然例外もあります）

豊後高田市の場合は、現在“昭和の街”として多くの観光客が毎日訪れています。これは、前記のような役所の指導的なものではなく、昭和の全盛期から平成の初期にかけて人口の減少が激しく、人口が約半減していく中で、運よく商店街の中に新規出店によるスクラップアンドビルドがなされなかったおかげです。現在は、商店のファサード等の改修には補助がなされています。

新規出店店舗においても、街並みに合わせた建物を建築されている状況です。しかし、これはあくまで施主の方の理解のもとで成り立って行っている状況です。今の様に多くの観光客が訪れる状況では、新規の店舗出店もあると考えられます。地域の建築士として現在の街並みに調和したファサードを施主の方に提案し、ご理解頂けるように努めなければならないと思っています。



豊前木造建築 町並みめぐりの旅

臼杵支部 高橋 利治

大分県木造建築研究会のお世話で、豊前・中津・宇佐方面を巡ってきました。またまた、中味の濃い視察研修の旅となりました。(全部書けないかもしれませんが！)

11月25日(土)、早朝臼杵を出発し、一路、豊前国分寺へ。特別に三重の塔の内部見学をさせていただきました。心柱は全長23m、60cm角、杉の一本ものです。薬師寺西塔見学以来でしたが、神聖な気持ちにつつまれました。横架材などは新しい松材に取り替えられているので、外観とのギャップを感じましたが、はね木を駆使した小屋組、三手先斗檜組物など、間近で見ることが出来ました。



豊前国分寺三重塔



心柱：全長23m



三層部：三手先組物



昭和62年5月吉日復元

ひとロメモ

奈良時代初期の西暦741年に聖武天皇は疫病、不作、反乱などの災害や社会不安を取り除くために、「国分寺建立の詔」をだしました。これは国ごとに国分僧寺と国分尼寺を建立し、国分僧寺には七重塔をつくり20人の僧を置き、国分尼寺には10人の尼を置くことを定めたものです。

ここ、豊前国分寺も、この時に造られたもので天平勝宝8年(756)ころまでに完成したものと考えられています。その後九州東北部一円の文化の中心として豊前国分寺は栄えましたが、戦国時代末期の天正年間(1573~1592)に戦国大名であった大友氏の戦火にあい焼失しました。

焼失後すぐ草庵は造られましたが、本格的に復興したのは約100年後の江戸時代の元禄年間(1688~1704)で、小笠原藩の援助を受け復興したものです。

現在、敷地内にある建物のうち本堂は寛文6年(1666)、鐘樓門は貞享元年(1684)に建立されたものです。塔は本来は七重塔であったが、明治28年に今の三重塔が建立されました。塔の高さは23.5m、奈良法起寺と並び三重塔としては全国一を誇っています。昭和60年~62年に全面的な解体修理が実施されました。

(福岡県指定有形文化財：昭和32年)

もっと、詳しく知りたい方は『豊前国分寺』で検索して下さい。(申し訳ありませんが)

そこで、昼になりましたので、「豊前淡水」という店へ移動し、鰻料理を味わいました。



丸山記念館 内部

次に、丸山記念館へ向かいました。この建物は(社)倫理研究所の創立60周年記念事業として、創始者丸山敏雄先生の生家を復元したもので、設計・監修は降幡廣信氏、実施設計は芳山氏で、平成18年5月に竣工しました。

今回は施工者の高原氏の案内で見学することができました。木を磨くぬか袋を幾つも置いていたのがなぜかうれしかったです。記念館全景記念撮影！(皆さん『職場の教養』ぜひ、お役立て下さい！)



丸山記念館 全景



福澤諭吉旧居記念館

次に、中津の松山氏の案内で、飛騨の古民家を移築した小森邸を見学しました。この外観は閑静な住宅地の中で俄然目立ちます！ 内部はそれこそ、ご想像の通りです、檜柱、梁、建具、欄間、調度品・・・、どれを見ても欲しくなります。このあと、中津市内へ移動し、改修工事中の福澤諭吉旧居・記念館へ。ちょうど土塀の作業中でした、竹を止める釘と軒瓦がなんか気になりましたが。

夕暮れ間近、中津城下へ。金谷上ノ丁の武家屋敷の復元された土塀を見学。建築士でつくるNPO 中津まちなみ会が工事をしたということです。

する主要な寺院でありました。

東別院の大門の彫刻は見事でした。忘れん内にもう一度、来ようと思いました。



福澤諭吉旧居の土塀修復作業



宇佐掩体壕



旧大分銀行 四日市支店

(詳しく知りたい方は、建築士会中津支部のHPご覧下さい) こうして、一日フルに見学し、宿泊地の「かんぼの郷宇佐」へ。温泉に入ったあと、懇親会もあったという間に終わり、夜の四日市へ消えていきました・・・！(報告は割愛!) さて、長くなりましたが、二日目は宇佐がメイン。宇佐の樫田氏の案内で、四日市別院へ。お東さん、お西さんが建ち並んでいます。ここはその昔「九州御坊」と称され、九州一円を管轄

東別院本堂別院近くにあったレトロな建物スポーツ店にはもったいない。戦争を今でも直に感じた宇佐掩体壕、豊前善光寺へ、本堂は国指定重要文化財で、1250年の再建ということです。(私は珍しいと思ったが) 妻側を正面としています、平面は、確か五間x七間だったか。屋根の反りと唐破風が印象に残りました。

ここで昼は樫田氏の案内で漁師町長洲の活き魚料理へ、ほんと、昨日の鰻といい二日間とも料理は豪勢です。このあと、県立歴史博物館で、開館25周年特別展「み仏の美とかたちー大分の仏教美術1400年の輝きー」へ、法隆寺の仏像や、なんと多福寺の涅槃画も拝ませさせていただき、ありがたかったです。

ほんとうに有意義な二日間でした。幹事の井上先生はじめ、案内していただいた方々、ありがとうございました。来年も期待しています！乱文多謝！



豊後大野市で開催された

(社)建築士会青年部会議について

三重支部 岡部 達巳

(社)大分県建築士会の青年部では、昨年度から年末の会議は忘年会を兼ね、各支部持ち回りで開催するようにしたようです。

初回の昨年は、日田支部の主催で行われ、わが三重支部からも3名が参加し、会議では各支部の活発な活動内容に刺激を受け、またその後の忘年会では他支部の皆さんと交流を深め、今後の活動意欲を大いに高めた模様でした。それだけならば良かったのですが、その際うちの青年部長は三重支部の活性化を期待したのか、ただ盛り上がりすぎたのか今年度の開催を思い切りよく引き受けてきました。当支部では春の総会でその報告を受け、青年部長の独断専行にやや戸惑いを覚えつつも、他支部の皆さんとの交流を深める貴重な機会と前向きにとらえ、今期の主要なスケジュールの一つに盛り込みました。決めた以上はなんとしても成功させなければなりません。準備は青年部に押付けたいところですが、少数会員の悲しさ、支部一丸で何とか乗り切ることになりました。

当初は11月に開催する予定で、「温水プールで健康浴」とか、「ミニバレーボール大会」など運動不足になりがちな会員の為に体を動かす企画を中心に準備を進めていましたが、各支部の予定がうまく付かなかった模様で新年へ持ち越しとなりました。実行委員長として関係各所に走り回り、企画・準備をしていた青年部長は正直少し凹んでいるように見えました。

結局、1月末に開催することになり、気分を変え新たな企画として、新年だから「書初め」に因んで「写経の体験」などユニークな案も用意しましたが、年度末が近づいたこの時期は各支部のみなさんはやはりご多忙のようで、余裕のあるスケジュールはなかなか組めそうもない状況が判明し、「写経」はあきらめ、会議と懇親会だけのシンプルな催しになりました。

1月27日、県下各地から各支部の青年部長、副部長さん十数名と本部事務局員の川村さんが、豊後大野市三重町の「ホテル豊洋」に集合して、会議と懇親会が行われました。

会議は午後2時30分から行われ、まず始めに各支部の活動報告がありました。折り紙建築の実施や各地

への研修、さらには古建築の調査など各支部の青年部で様々な活動が積極的になされているようで非常に興味深いものでした。



会議の会場となったホテル豊洋

その後、平成19年度「建築士の集い」大分大会の取り組みについて活発な意見が交わされました。

様々な企画が提案されている模様でしたが、特にリノベーション（古い建物を新たな用途に再生する）の事例をまとめ、「大分リノベーション建築マップ」の作成を行おうとしている青年部のみなさんの「やる気」や「真摯」な姿に接して、ある種の感動を覚えました。わが三重支部も微力ながら協力していかなければと強く思いました。

引き続き懇親会は、同ホテルにて、三重支部の会員数名も参加し、盛大に行われました。支部の会員も他支部の青年部の方と懇談ができて、有意義なひとときを過ごせたようです。

その後は、「お決まり」の如く、三重町の小さな憩いの場で皆さんと懇親を深めました。

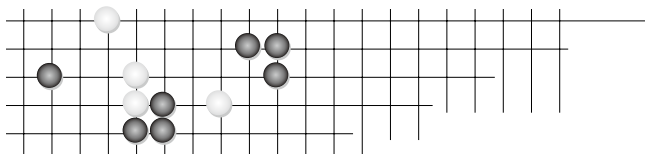
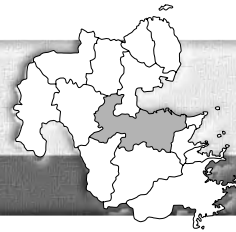


豊後大野市三重町の風景

今回の(社)大分県建築士会青年部長・副部長会議は、当三重支部に新鮮で真摯な風を送り込んでくれました。このせつかくの機会に当支部の会員の参加者がちょっと少なかったことは少し残念でしたが、今後の活動の活性化につなげていきたいと思えます。建築的には魅力の少ない豊後大野市ではありますが、皆さんのまたのお越しをお待ちしています。

いずれにしろ、各支部持ち回りでの会議の開催はたいへん有意義だと感じました。今後も続けてほしいと思えます。

参加者のみなさん、本当にお疲れ様でした。



大分支部

恒例の新春囲碁大会を、去る1月27日(土)、別府市の豊泉荘にて開催した。5チーム25名が参加し、熱戦を繰り広げた。

結果は次のとおり

囲碁大会 結果

団体戦の部

優勝 … 県職OB、JRチーム

準優勝 … 大分市役所チーム

第3位 … 県職、大学チーム

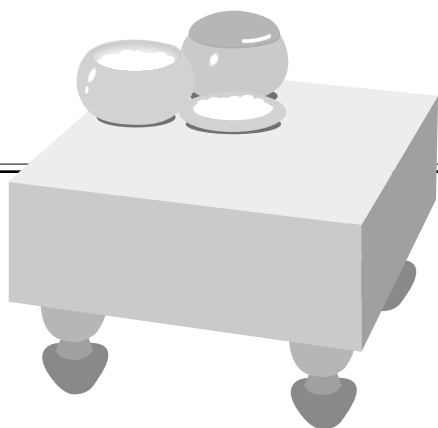
個人戦の部

優勝 … 南波 忠行 (県職OB)

準優勝 … 本田 秀二 (県職、大学チーム)

第3位 … 太田 博敏 (太平工業チーム)

第4位 … 牧 忠則 (市役所)



女性部会の page

勉強会報告

テーマ 「木の良さと木造住宅」

開催日時 平成19年1月13日(土) 13:30~15:30

大分支部 高山 鮎美

第2回大分県女性建築士住宅セミナーに先だって、木について、主催者側の知識・認識の再確認、スキルアップを兼ねて、勉強会を開催しました。

講師に、大分県建築士会会長である芳山憲祐氏を招いて、女性部より12名、青年部より4名の参加を頂いて、大分文化会館の第4会議室にて行われました。



主なお話の内容は、木の特性についてで、「木が持続可能な資源である事」「樹木が巨体を保持し、長寿を保てる理由」「木の癖（反りや曲）ができる理由」「大分方式の乾燥」「木取り」「木材の耐火性や強度」等々、基本的なことから専門的なことまで、現場での体験談や雑学的なことも交えてお話ししました。特に、木造を手がける時に重要である、良い木の見分け方では、「樹皮がねじれている木は、材になってからねじれやすい」「日陰の山の方が素直な木でよい」「樹皮に枝打ちの跡が見えない木は死に節が出やすく、跡が大きく残る木は変色や腐れが出やすい」等、乾燥前の立木の状態でのポイントを教えて頂いたり、フィトンチッド効果については、実際の木材の匂いを体感しながら、また、割れの生じた木材や集成材のサンプルを手に取りながら様々なお話して頂き、木の不思議さに魅了されると共に、木についての再確認と新たな知識を身に付けることが出来ました。



第2回大分県女性建築士住宅セミナー報告

テーマ 「木の家づくり住宅セミナー」

(女性建築士による県産木造住宅建設支援事業)

開催日時 平成19年1月20日(土)

主催 大分県農林水産部林産振興室

(社)大分県建築士会女性部・青年部

<スケジュール>

13:00~ 開会の挨拶

13:05~13:20 第1回セミナー日田山林見学会報告

13:20~14:45 講演会

三ヶ尻 勝氏 (別府支部会員)

14:50~15:10 県産木材補助金制度についての説明
林産振興室 参事 安東 宏氏

15:20~15:45 質疑応答

住宅相談会

大分支部 中道 了子

今回は講演会と住宅セミナーということで大分市のトキハわさだタウンフェスティバルタウン2Fにて行われました。

女性部会長阿南さんの挨拶の後、副会長の野依さんから第1回セミナー日田山林見学会報告がありました。



そして講演会。別府支部の三ヶ尻 勝さんを講師に迎え「木の住まいの育て方、付き合い方」と題して講演が始まりました。まずは家づくりの全体の流れについての話です。

・敷地の選び方（土地選び）

・設計の依頼

自分の考えた家を図面化する



設計事務所に依頼設計施工

設計施工

どちらでもメリット、デメリットがある

設計事務所でもRC、S、Wの得意、不得意

住宅、店舗の得意、不得意

・設計依頼をしてから図面が出来るまで施主の思いを本音で話す（いい物を作るために）

・施工者選び

出来ればその土地を知っている地域の業者がいい

家が出来たあとのメンテナンス

設備の対応

施主、設計者、施工業者の信頼関係が大切

・着工

地鎮祭、上棟式

・竣工

とてもわかりやすく家づくりのお話し頂きました。



そして、木とのつき合い方、木の扱い方の話がありました。次に実際の住宅を例に挙げ、それぞれの施工の流れに沿った現場写真のスライドショーにあわせて、この間にあった施主とのやりとりや、部材の説明、設計で工夫したところなどのお話がありました。

実際の住宅の写真をはじめから最後まで見る機会がないので、皆さん講演会の間それぞれにメモを取ったりしてとても熱心に聞き入っていました。講演が終わってからも質問があったりと、とても勉強になったようです。三ヶ尻さんお疲れさまでした。

次は県産木材補助金制度についての説明です。

大分県農林水産部 林産振興室 安東参事よりお話を頂きました。



※県産木材補助金制度

大分県では、大分方式乾燥材活用住宅促進事業として、県産材を使用して新築する場合、家1棟分の大分方式乾燥柱材（割れがほとんど無く、色や香りなど木の持つ本来の特性が失われていない、優れた乾燥材）を、協定を締結した工務店に現物提供するという事業を実施しています。（杉材120角80本約20万円相当）

今年度の枠はもう無いのですが、また19年度にも実施しますので、この制度を活用して皆さん県産材を使いましょうね。

このあとセミナーに参加した方々から質問を頂きました。

やはり木の家を造ろうと思われている方がほとんどなので具体的に突っ込んだ質問も出たりしました。

そして個別の住宅相談会が行われ、セミナーを終了しました。





今回皆さんから頂いたアンケートを参考に、今後も県産材の普及につとめていきたいと思えます。



参加された皆様、県担当者様、女性部の皆さん、協力して頂いた青年部の方々お疲れさまでした。
そして有り難うございました。
次回も宜しくお願い致します。

住宅セミナーに参加して

一般参加者の和田恵利子さんより感想文を頂きました。

木の家は私のあこがれる住まいです。

今の家は、昔と違って柱や梁が見えないつくりが多く、そのためか壁や天井に隠れてしまった木は注目される事が少なくなったように思います。

現在、私が住んでいる家も一体何でできているのか見た目では分かりません。木の見える家に一段と魅力を感じてしまうのは私だけでしょうか。

セミナーでは、木の家のいいところをたくさん教えていただきました。中でも特に話題となったのが調湿性です。湿気が多いときは木が水分を吸い込み、また乾燥したときは反対に放出してくれます。その上、断熱効果も高く、ムクの木フローリングは、その肌触りからも分かるように熱を奪いにくいそうです。木は、高温多湿な日本の気候に適した材料なのです。

そして、講師の三ヶ尻さんのお話の中で最も印象的だったのが、木の家を建てたらそれで終わりではなく、上手に付き合っていくことが大切だということです。木の家に限らず、メンテナンスはどんな家にも必要ですが、木の家に住むのなら、定期的に木を手でなでたり、磨いたりしてあげる事によって、塗装ではできない非常にいい色になっていくそうです。年月が経つにつれていい家になっていくなんで、木の家に住む事が本当に楽しくなりそうだと思います。

セミナーに参加して、改めて『木の家っていいな』と思いました。しかしその反面、柱や梁の見える木の家はつくるのも大変そうで、費用も一段とかかるのではという心配がありました。でも、そんな不安もセミナーで解決できました。特定の条件を満たせば、杉材の柱を無料で提供してもらえる県の補助制度を利用できたり、工務店や建築のプロの方に相談すればコストをさげる事は可能だと教えていただきました。

また国産材の価格についても、現在は外産材とそう変わらない値段になってきているそうです。一生住む家と考えた時、同じコストなら日本で育った木のほうが、日本の気候にあった健康的で快適な住まいが実現できそうだと思います。

～ 訂正とお詫び ～

建築士おおいた98号の女性部会のpageで、建築士会女性部の参加人数に誤りがありました。正しくは「建築士会女性部10名」の参加でした。訂正してお詫び致します。

おおいだ建物発掘隊

大分市編

戦争遺跡とアート

大分支部 岐部 和久

県内には第二次大戦中の遺跡が宇佐や佐伯を始めとして数多く残っていますが、大分市内にもいくつかあります。その内の一つに、大分市高城のショッピングセンター前に古い倉庫の様な建物があります。

江井ヶ嶋酒造大分醸造所

取材に伺い、大分醸造所の所長である上田晶人さんに詳しいお話を聞く事が出来ました。

戦後、GHQから大分酒造株式会社が譲受け、造り酒屋として創業を開始し昭和56年に江井ヶ嶋酒造大分醸造所の醸造所となり現在に…戦時中は第12海軍航空廠の高城工場として発動機（ゼロ戦のエンジン）を作る工場で、当時は護国神社に行く陸橋の辺りから高城駅付近まで工場があり、かなり大きな軍需施設でした。現在残っている建物は、その完成したエンジンのテストをする工場で、互い違いにスラブを持つRC造4階建ての施設です。



江井ヶ嶋酒造大分醸造所〔旧百人力工場〕

建物内部へ案内されると、流石醸造工場だけあって麹菌によって醗酵する甘酸っぱい匂いに圧倒されつつ、まるで現在から昭和20年代にタイムスリップしたような感覚に…。

4つの棟から出来ている内部は前後に6つ、全部で12のテスト棟に区画され、その区画された棟を貫くように通路が設置されています。通路を歩いて2つ目



テスト区画を貫く通路

の区画の1階に入るとコンクリートの壁を丸くくり貫いた部分があり、この部分にワイヤーを利用してエンジンを固定し、テストしていたとの事でした。

互い違いのスラブは、このテスト時に出る爆音を消音する為の仕掛けで、他にも壁と壁の間に海藻を挟んで吸音している部分もあったそうです。只、効果が本当にあったかどうかは疑問ですねと言う事でした。



円形になっている壁

薄暗い工場に機銃口から光が差し込んで、戦争中の暗いイメージの中に幻想的な感覚で不思議な体験でした。

テスト棟同士をつないでいる部分には、事務室の様な物となっていて、屋上には当時のままの木製ガラリーがしっかりついていました。

屋上から1階へ迷いそうになりながら降りて行き、今度は実際に機銃を受けた道路側の扉を見学…。

建物自体の状態についてお聞きすると、60年以上経っている為、建物のあちこちで鉄筋の爆裂が起こっている事と、電気設備は現在も当時のままの部分があつて雨でもないのに漏電する事もあり、かなり老朽化が進んでいる



建物の中で醗酵中の焼酎

とのことでした。確かに外壁は正面と東側はモルタルによって保護（部分的に剥落している）されていましたが、山側（迷彩塗装らしき部分が残っている）や屋上は当時のままで部分的に表面劣化が進んでおり、このままでは駄目になって行くように感じました。



実際に機銃を受けた道路側の扉



迷彩塗装らしき部分の残る壁

最後に、この建物に毎年近くの小学校から社会見学に来るそうです。醸造所の見学ですか？と上田さんに尋ねると戦争のついでに社会見学できていますとの事。

又、2002年には大分市現代美術展2002アート循環系サイトCyclical Art Siteの一環として現代アートをした事もあるそうです。

ふと感じたのですが、建築物に生きた資料としての価値とアートとしての価値、同時に感じる場所は数少ないのでは？と・・・。

今まで数多くの価値のある建物が廃墟同然となって、経済的理由や安全性から壊されていきました。全てを残せと言える立場では無いですが、複数の価値がある建物は保存する価値もあるのではと・・・。

改めて考えさせられながら、取材を終える事になりました。

ご協力

江井ヶ嶋酒造株式会社

本社 兵庫県明石市大久保町西島919

TEL 078-946-1006(代) FAX 078-947-0002

<http://www.ei-sake.jp/>

住宅の耐震化で家族を守ろう!!

事業内容

平成18年度より昭和56年以前に建てられた建築物の耐震診断を行う場合、助成を行っています。事業内容は、耐震診断をする木造住宅所有者に市町村が**2万円を限度に助成します**。リフォームを予定されている方などは、ぜひ耐震診断を行ってください。

対象住宅

- ・昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅の一戸建て住宅
- ・店舗や事務所などとの併用住宅の場合は、その割合が住居部分より小さいもの
- ・その他（市町村によって異なるのでお問い合わせ下さい。）

耐震診断

古い住宅は地震で倒れる可能性があります。とはいえ本当に倒れるかどうかは地震が起こってみたいとわからないですね。

そこで専門業者の方に建物を見てもらうのが耐震診断です。



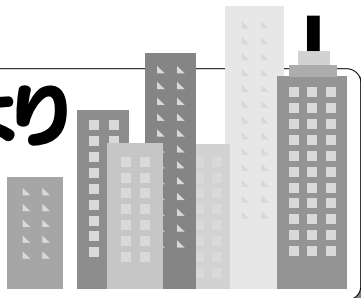
<各市町村連絡先>

市町村名	相談窓口(担当課)	電話番号	
大分県	建築住宅課	097-506-4679	
大分市	建築指導課	097-534-6111	
別府市	建築指導課	0977-21-1111	H19年度から開始
中津市	建築指導課	0979-22-1111	H19年度から開始
日田市	建築住宅課	0973-23-3111	H19年度から開始
佐伯市	建築住宅課	0972-22-3111	H19年度から開始
臼杵市	都市デザイン課	0972-63-1111	
津久見市	都市建設課	0972-82-4111	
竹田市	建設課	0974-63-1111	
豊後高田市	建設課	0978-22-3100	
杵築市	建設課	0978-22-3131	
宇佐市	建築課	0978-22-1111	
豊後大野市	建設課	0974-22-1001	
由布市	建設課	097-583-1111	未定
国東市	建設課	0978-72-1111	
姫島村	建設課	0978-87-2111	
日出町	都市建設課	0977-73-3111	
九重町	建設課	0973-76-2111	
玖珠町	建設課	0973-72-1111	

各市町村によって、事業開始時期が異なりますので、詳しくはお住まいの市町村担当窓口へお問い合わせ下さい。

行政だより

大分県 建築住宅課



建築基準法の改正について

建築物の安全性の確保を図るための建築基準法の一部を改正する法律が平成18年6月21日に公布され、公布後1年以内を目処に施行されることとなっております。

平成19年2月には施行に向けて関係政省令の案が示されましたので、主な内容についてお知らせします。

改正案のポイント

○法第6条第5項により構造計算適合性判定を受けなければならない建築物について、政令及び告示にて示されました。今回は政令・告示で示された部分について記載します。

・対象建築物

- 1)法第20条第2号に準ずるものとして政令で定めるもの
 - ① 地階を除く階数が4以上である組積造又は補強コンクリートブロック造の建築物
 - ② 地階を除く階数が3以下であるS造の建築物であって、高さが13m又は軒の高さが9mを超えるもの
 - ③ RC造とSRC造とを併用する建築物であって、高さが20mを超えるもの
 - ④ 木造、組積造、補強コンクリートブロック造若しくは鉄骨造のうち2以上の構造を併用する建築物又はこれらの構造のうち1以上の構造と鉄筋コンクリート造若しくは鉄骨鉄筋コンクリート造とを併用する建築物であって、次のイ又はロのいずれかに該当するもの。
 - イ. 地階を除く階数が4以上である建築物
 - ロ. 高さが13m又は軒の高さが9mを超える建築物
 - ⑤ 前各号に掲げるものの他、国土交通大臣が指定する建築物。

⑤の国土交通大臣が指定する建築物についての告示の全文は、国土交通省HPにてパブリックコメントの対象として公開されています。(告示第1790の改正)

この告示は従来の構造計算ルート1に相当する建築物を判定対象から除外する内容となっておりますので、構造計算をルート2、ルート3で行う場合は、建築物の規模構造を問わず構造計算適合性判定の対象となります。

今回の告示の改正(案)ではルート1対象が拡大されていますが主要な部分については下記のとおりです。

1 鉄骨造の建築物

- ・2階建て以下の場合のスパンが12mまで緩和されました。
- ・平屋建ての場合の床面積が3,000㎡まで緩和されました。

2 RC、SRC造の建築物

- ・壁、柱、梁のせん断耐力を詳細に検討する方法が追加されました。

○ 今回の改正では、構造計算適合性判定の新設の他、建築確認等の審査方法が厳格化されます。また、軽微な場合を除き図面や構造計算書の訂正を認めないとの方針が国土交通省から示されています。

○ 施行は平成19年6月20日の予定です。

○ 今回の改正は、審査方法の変更が主な内容となっておりますので、施行日の受付分からの適用となります。



事務局だより

【行事報告】

■女性部勉強会

日時 平成19年1月13日
場所 大分文化会館 第4会議室
参加 15名
内容 講師 芳山 憲祐氏 「木について」

■第2回大分県女性建築士住宅セミナー

日時 平成19年1月20日
場所 トキハわさだタウンフェスティバルタウン
参加 40名
内容 講演会 講師 三ヶ尻 勝氏
「木の住まいの育て方・付き合い方」

■九州ブロック建築士研究集会

「パッション in ふくおか」
日時 平成19年2月24日
場所 太宰府市 九州国立博物館
参加 86名

■建築士のための指定講習会

日時 平成19年3月9日
場所 大分文化会館 第2小ホール
参加 151名

■第3回大分県女性建築士住宅セミナー

日時 平成19年3月21日
場所 トキハわさだタウンフェスティバルタウン
参加 20名
内容 講演会 講師 芳山 憲祐氏
テーマ「健康で長生きできる木造住宅」

【会議報告】

■第5回青年部長・副部長会議

日時 平成19年1月27日
場所 三重町ホテル東洋会議室
出席 17名
議題 1) 各支部活動状況について
2) 平成19年度「建築士の集い」
大分大会について
3) パッション in ふくおかについて

■専攻建築士申請書類予備審査

日時 平成19年2月2日
場所 事務局
出席 3名

■編集委員会

日時 平成19年2月5日
場所 コンパルホール
出席 13名
議題 「建築士おおいた No.99」の発行について

■三役会

日時 平成19年2月7日
場所 事務局
出席 6名
議題 1) 設計事務所協会全国大会負担金の支出について
2) 構造計算適合性判定業務委託の受託について

■編集作業（建築士おおいた No.99）

日時 平成19年3月7日
場所 事務局
出席 5名

■編集作業（建築士おおいた No.99）

日時 平成19年3月15日
場所 事務局
出席 5名

■三役会

日時 平成19年3月22日
場所 事務局
出席 4名
議題 理事会の議題について

■編集作業（建築士おおいた No.99）

日時 平成19年3月22日
場所 事務局
出席 3名

■理事会

日時 平成19年3月23日
場所 コンパルホール
出席 31名
議題 1) 建築基準法の改正に伴う「指定構造計算適合性判定機関」について
2) 上記特別委員会の設置について

【建築士会連合会関係】

■第435回臨時理事会・士会長合同会議

日時 平成19年1月25日
 場所 東京都
 出席 芳山会長
 議題 建築士法改正に伴う指定登録機関・登録講習機関への対応について 他

【九州ブロック会関係】

■会長会議

日時 平成19年2月24日
 場所 太宰府市
 出席 芳山会長
 議題 1) ブロック会旅費規約の一部改正について
 2) 連合会の理事選出について
 3) 連合会より報告

■全国青年委員長会議

日時 平成19年3月16～17日
 場所 (社)東京建築士会会議室
 出席 後藤部会長、竹宮副部会長、岐部幹事
 内容 基調講演、グループディスカッション

■青年建築士協議会・女性建築士協議会運営委員会

日時 平成19年2月24日
 場所 太宰府市
 出席 後藤青年部会長、阿南女性部会長、岐部青年部幹事、中道女性部幹事
 議題 1) パッション in 福岡大会の運営について
 2) 「建築士の集い」大分大会進捗状況について
 3) パッション in 佐賀大会の進捗状況について
 4) 九州ブロック会長会議の報告について

CPD制度 参加の皆様へ

★CPDデータ登録について★

CPD制度に参加し、CPD手帳をお持ちの方は毎年1回建築士会に手帳を提出し、データ登録を行ってください。貼付してあるシールの記録を行います。

また、実務実績についても所定の実務実績シートで申請することにより研修の実績とあわせて登録します。

申請書様式は下記URLよりダウンロードできます。

http://www.kenchikushikai.or.jp/cpd/data_kiroku/data_kiroku.htm

平成19年建築士試験のご案内

【一級建築士試験】

	試験日	試験場
学科の試験	平成19年7月22日(日)	日本文理大学
設計製図の試験	平成19年10月14日(日)	日本文理大学

【二級建築士試験】

	試験日	試験場
学科の試験	平成19年7月1日(日)	日本文理大学
設計製図の試験	平成19年9月16日(日)	大分大学(巨野原キャンパス)

【木造建築士試験】

	試験日	試験場
学科の試験	平成19年7月22日(日)	日本文理大学
設計製図の試験	平成19年10月14日(日)	日本文理大学

新 会 員 紹 介

(H.19年1月～3月入会)

支 部	氏 名	勤 務 先 (所在地)	電 話
大分	兒玉 智浩	赤星建築：大分市大字今市	(097) 589-2228
大分	首藤 陽子	(株)アルカイツク：大分市岩田町3-8-9	(097) 551-5000
大分	姫野 能人	柴田建設(株)：大分市大字中判田1712番地の4	(097) 597-2233
大分	松村 和弘	赤星建築：大分市大字今市	(097) 589-2228
佐伯	椎原 華愛	谷川建設工業(株)：佐伯市常盤南町8番33号	(0972) 22-2601



AP 「大手門復元」 C. Kawano

季節ごとの雪の中
 東北支部からのお知らせ
 笠木

・今年はずかしい年でしたか
 なんと本日(3月15日)は雪が降り
 ました。日本の四季は又々々?
 秋

・初めての参加でしたが
 お仕事の作業ができ
 ホッとしました。 A.M



・おたさんおつかい様でした。
 Oka

・帰りの水分は長から心面までです。
 (重)
 おつかい様でした。 誠司

広報委員

担当副会長	〈佐賀関〉	川口	青史
委員長	〈大分〉	長野	保幸
委員	〈大分〉	宮崎	隆博
〃	〈国東〉	上野	貢一
〃	〈別府〉	河村	靖
〃	〈臼杵〉	板井	登喜雄
〃	〈三重〉	岡部	達巳
〃	〈玖珠〉	穴井	和興
〃	〈中津〉	富部	直一
〃	〈日田〉	日高	淳一

編集委員

委員長	〈大分〉	笠木	忠昭
副委員長	〈津久見〉	竹田	光徳
〃	〈日田〉	秋和	夫
委員	〈高田〉	後藤	憲二
〃	〈国東〉	菊本	軍治
〃	〈別府〉	岡田	宏基
〃	〈大分〉	河野	佑美
〃	〈大分〉	坪井	敬行
〃	〈大分〉	飯倉	尚之
〃	〈大分〉	岐部	和久
〃	〈大分〉	高山	鮎美
〃	〈佐賀関〉	川口	尚文
〃	〈臼杵〉	河野	恵美
〃	〈佐伯〉	寺前	嘉二
〃	〈佐伯〉	中田	智佐美
〃	〈三重〉	後藤	康仁
〃	〈竹田〉	伊東	政博
〃	〈玖珠〉	佐藤	誠司
〃	〈中津〉	松下	明美
〃	〈宇佐〉	奥田	和彦

建築士大分

2007. 4 No. 99

(非売品)

平成19年 3月25日 印刷

平成19年 4月 1日 発行

編集/発行所

社団法人

大分県建築士会

〒870-0022

大分市大手町2丁目2-7田原ビル2F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

印刷所/いづみ印刷株式会社

大分市大字下郡字丁畑3119-1 TEL (097) 569-3741



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

LPガス

知っているようで
意外と知らないガスのお話 **その1**

LPガスは 自然となかよし

LPガスは、CO₂排出量の少ないクリーンなエネルギー。日本が著しい経済発展の中で森林を守ることができたのは、多くの皆さんにLPガスを利用していただいたから。人と地球にやさしいLPガスです。



子どもたちの未来に炎の文化を伝えよう
社団法人 大分県エルピーガス協会

〒870-0901 大分市西新地一丁目9番5号 TEL(097)558-5482

<http://www.oitalpg.or.jp>

士 楽 豊

式 会 会

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高 田	879-0605	豊後高田市御玉199	0978-24-0418
国 東	873-0503	国東市国東町安国寺718	0978-72-2887
別 府	874-0845	別府市大字鶴見字角田3220-3 別府建築士事務所会館	0977-67-4488
本部・大分	870-0022	大分市大手町2-2-7 田原ビル2F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市大字佐賀関3068 高島建設(株)内	097-575-0116
臼 杵	875-0082	臼杵市稲田中尾下1000-1 (有)みえのブロック内	0972-63-6695
津久見	879-2475	津久見市大字堅浦421-3	0972-82-1805
佐 伯	876-0813	佐伯市長島町1-3-11	0972-23-6099
三 重	879-7131	豊後大野市三重町市場701-5 ウィリングリービル	0974-22-6606
竹 田	878-0026	竹田市大字飛田川1618-6	0974-62-3711
玖 珠	879-4331	玖珠郡玖珠町大字戸畑3466-1 高倉ホーム内	0973-73-7436
日 田	877-0025	日田市田島1-7-43-1F 102 (有)藤原設計内	0973-24-6022
中 津	871-0024	中津市中央町1-5-24 中津建築会館	0979-24-3597
宇 佐	879-0454	宇佐市大字法鏡寺290-1 服部第3ビル102号	0978-33-3395
本 部	http://www.oita-shikai.or.jp/		
国東支部	http://www18.ocn.ne.jp/~ksikai/		
別府支部	http://www.beppu-yukemuri.com		
大分支部	http://homepage2.nifty.com/k-shikai-oita/oitasibu/		
佐賀関支部	http://www.d-b.ne.jp/sekisibu/		
臼杵支部	http://www.bungo.or.jp/usk_shikai/syoukai.htm		
津久見支部	http://www.bungo.or.jp/t-shikai/		
佐伯支部	http://www.geocities.jp/o_s_kentikusi/		
三重支部	http://www16.plala.or.jp/sok-mie/		
竹田支部	http://ww61.tiki.ne.jp/~kentikusi-ta/index.htm		
玖珠支部	http://www18.ocn.ne.jp/~ken-kusu/		
日田支部	http://www.d-b.ne.jp/ken-hita/index.htm		
中津支部	http://kentikusi-nakatu.net/		
宇佐支部	http://www.d-b.ne.jp/usasikai/		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～
目標3,000人突破



社団法人 大分県建築士会